

附属病院

総合診療部

著書

- 1 小田康友, 小泉俊三: III 基本的診療技能 腹部と泌尿生殖器の診察. 大滝純司, 仲田和正 編集: コア・カリキュラム対応 診療の基本 [改訂2版] (分担執筆), 339-344, 金芳堂. 2006.

総説

- 1 KOIZUMI, Shunzo: Editorial: Perceived Medical Error in Primary Care: Physician's Remorse and Patients' View—The Need for a Moral Perspective in the Analysis of Medical Harm. JMAJ 49: 9 & 10, 285, Japan Medical Association Journal. 2006.
- 2 小泉俊三: 患者安全と卒後臨床研修—研修医に求められるコンピテンシーと医療人教育の課題. 医療の質・安全学会誌 1: 1, 36-42, 医療の質・安全学会. 2006.
- 3 小泉俊三: 知っておくべき新しい診療理念: プロフェッショナリズム. 日本医師会雑誌 135: 9, 2012-2013, 日本医師会. 2006.
- 4 小泉俊三: EBM がもたらしたもの, めざすもの/EBM を実践できる医師を育てる環境は進んだか/卒後臨床研修 (大学病院). EBM ジャーナル 7: 1, 194-198, 中山書店. 2006.
- 5 小泉俊三: EBM の教育—医療のグローバルスタンダードに目を開かせる—. 診断と治療 94: 2, 217-221, 診断と治療社. 2006.
- 6 小泉俊三: 特集ジェネラリストのキャリアパス—後期研修を展望する—プライマリ・ケア医の養成はどこまで進んだか. JIM 16: 7, 532-535, 医学書院. 2006.
- 7 津田 司, 小松 真, 山田隆司, 小泉俊三: 合同座談会: 地域医療を担う医師の育成を目指して. 月刊地域医学 20: 12, 1050(2)-1060(12), 社団法人地域医療振興会. 2006.

原著

- 1 Noriyuki Misago, Yasuko Ohtsuka, Kenji Ishii and Yutaka Narisawa: Papular and Reticular Elastolytic Giant Cell Granuloma: Rapid Spontaneous Regression. Acta Dermato-Venerologica 87, 89-90. 2006.
- 2 薬師寺祐介, 原口祥典, 副島 修: A Hyperdense Artery Sign and Middle Cerebral Artery Dissection. Internal Medicine 45: 22, 1319-1322. 2006.
- 3 山田雅彦, 副島 修: Doctor shopping behavior with psychological distress: a survey using ICPC-2 and COOP/WONCA Charts in Japan. Japanese Journal of Primary Care 29: 2, 0914-8426. 2006.

学会発表

国際学会

- 1 Mitsuhiro Takasaki, Shunzo Koizumi, Yoko Tanaka, Hiroyuki Nishiyama, Terutoshi Harada and Tadahide Totoki: DEVELOPMENT OF E-LEARNING COMMUNICATIONSYSTEM AMONG HEALTHCARE PROFESSIONALS (P279). IADIS International Conference e-Society 2006. Dublin, Ireland. 2006, July, 13-16. Digital Library of IADIS (Web 版), Searchable by Author "Takasaki".

- 2 Shunzo Koizumi, MD, FACS, Saga Medical School (Coordinator), Seiji Bito, MD, MSHS, National Hospital Organization, Shunichi Fukuhara, MD, MSc, DMSc, Kyoto University, Maiko Ono, MD, MPH, Karatsu-Kitahata Municipal Hospital, Saga, Junji Otaki, MD, DMSc, Tokyo Medical University, Yuko Y Takeda, MD, PhD, University of Tokyo, Seiji Yamashiro, MD, MS, Toyama Medical and Pharmaceutical University: Perceived Important Issues Regarding National Examination for Medical License of Japan by the Leaders of Japan Society for Medical Education—A National Survey (at Interest Group Session: Trans-Pacific Initiative in Generalist Education). Society of General Internal Medicine (Los Angeles, U.S. A.). Los Angeles, CA, U.S.A. 2006, April, 26-30. Journal of General Internal Medicine Vol.21, Supplement 1 (April).

全国規模の学会

- 1 石井賢治 (ディスカッサント): クリニカル・カンファレンス 数年来の全身疼痛を主訴に訴える49歳男性. 第14回日本総合診療医学会学術集会. 宇部市文化会館. 2006, 3, 4. 総合診療医学会会誌 vol.11, No 1, 43. 2006.
- 2 小泉俊三: 医師国家試験改善のための重要課題について—日本医学教育学会評議員へのアンケート結果から. 日本医学教育学会. 奈良市. 2006, 7, 28-29. 医学教育 37巻補冊, 43.
- 3 小泉俊三, 小田康友, 酒見隆信: 学習内容の網羅性から見た PBL: 本学 PBL はコア・カリキュラムをどの程度網羅しているか. 日本医学教育学会. 奈良市. 2006, 7, 29-30. 医学教育 37巻補冊, 37.
- 4 西山裕之, 坂西雄太, 朝長元輔, 徳永理会, 好川直樹, 副島 修, 石井賢治, 江村 正, 小泉俊三: 安定した日常生活習慣病で, 大学病院にかかり続ける患者の受診理由についての調査. プライマリケア関連学会連合学術会議・第21回日本家庭医療学会. 名古屋. 2006, 5, 13.
- 5 西山裕之, 坂西雄太, 朝長元輔, 徳永理会, 好川直樹, 副島 修, 石井賢治, 江村 正, 小泉俊三: 安定した日常生活習慣病で, 大学病院にかかり続ける患者の受診理由についての調査. プライマリケア関連学会連合学術会議・第21回日本家庭医療学会. 名古屋国際会議場. 2006, 5, 13. 日本家庭医療学会.
- 6 酒見隆信, 小田康友, 小泉俊三: PBL テacher 評価の試み—どのようなテacher が学生に評価されているか. 日本医学教育学会. 奈良市. 2006, 7, 28-29. 医学教育 37巻補冊, 43.
- 7 朝長元輔, 石井賢治, 坂西雄太, 西山裕之, 宮本理会 他 5 名: 当科で経験した感染性脊椎炎 9 例の検討と考察(結核性脊椎炎の 2 例を中心に). 第14回日本総合診療医学会学術集会. 宇部市文化会館. 2006, 3, 4. 総合診療医学会会誌 vol.11, No 1, 66. 2006.

内科学会九州地方会

- 1 相原秀俊, 副島 修: 空調機の清掃にて改善した過敏性肺臓炎の一例. 第275回日本内科学会九州地方会. 大分. 2006, 11, 19. 日本内科学会雑誌 vol 96, No 3, 200.
- 2 中間健太郎, 西山裕之, 朝長元輔, 徳永理会, 副島 修, 石井賢治: 著明な高カルシウム血症のみられた副甲状腺腺腫の一例. 第273回 内科学会九州地方会. 熊本. 2006, 5, 20. 日本内科学会雑誌 vol 95, No 11, 192.
- 3 中間健太郎, 西山裕之, 朝長元輔, 徳永理会, 副島 修, 石井賢治: 著明な高カルシウム血症のみられた副甲状腺腺腫の一例. 第273回内科学会九州地方会. 熊本大学医学部総合研究棟. 2006, 5,

20. 日本内科学会雑誌 vol 95, No 11, 192.

- 4 副島 修：玄界島での離島医療と福岡県西方沖地震を経験して．県民医療アカデミーオブe-JAPAN. 佐賀. 2006, 11, 11.
- 5 好川直樹, 石井賢治, 山本巻一, 小泉俊三：オウム病に急性糸球体腎炎を合併した1症例. 第274回内科学会九州地方会. 鹿児島大学医学部鶴陵会館. 2006, 8, 19. 日本内科学会雑誌 vol 96, No 2, 214.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	小泉 俊三	厚生労働科学研究費補助金	医療安全・医療技術評価総合研究事業	臨床研修医が初期研修の2年間に修得すべきEBM教育カリキュラムの開発に関する研究	8,000
教授	小泉 俊三	厚生労働科学研究費補助金	医療安全・医療技術評価総合研究事業(分担)	診療ガイドラインの適用と評価に関する研究	10,000
教授	小泉 俊三	厚生労働科学研究費補助金	医療安全・医療技術評価総合研究事業(分担)	行政処分を受けた医師に対する再教育モデル事業に関する研究	7,000
教授	小泉 俊三	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	(分担)	シミュレーターなどを用いた,新しい医学教育プログラムの開発と実行,教育効果の検討	3,600
教授	小泉 俊三	厚生労働科学研究費補助金	政策科学総合研究事業(統計情報総合)(分担)	医療分野IT化に対応した統計調査の在り方に関する研究	4,500